

# 平成22年度決算

## 大切な財源の 使いみち

まちの家計簿ともいえる平成22年度の決算がまとまりました。町では、皆さんが納める大切な税金などをもとに仕事をしており、決算はその使いみちを示すものです。今回は一般会計と7つの特別会計の決算の概要をお知らせします。

・平成22年度山田町歳入歳出決算書から集計（四捨五入により合計が合わない場合があります）

# 一般会計

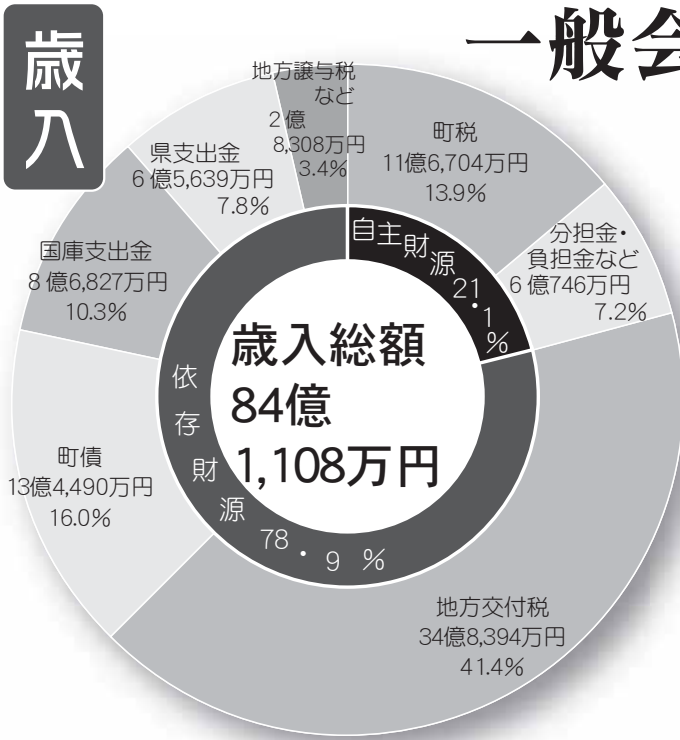
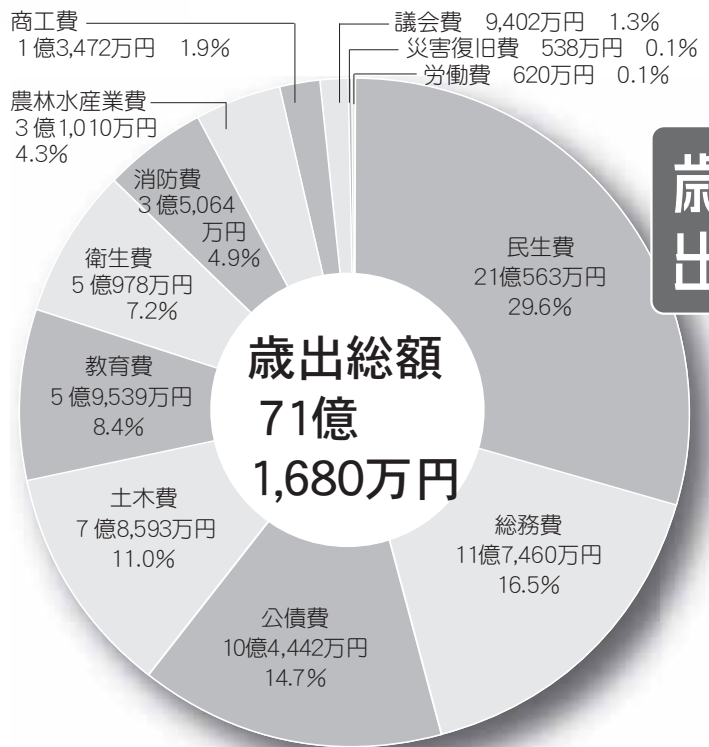
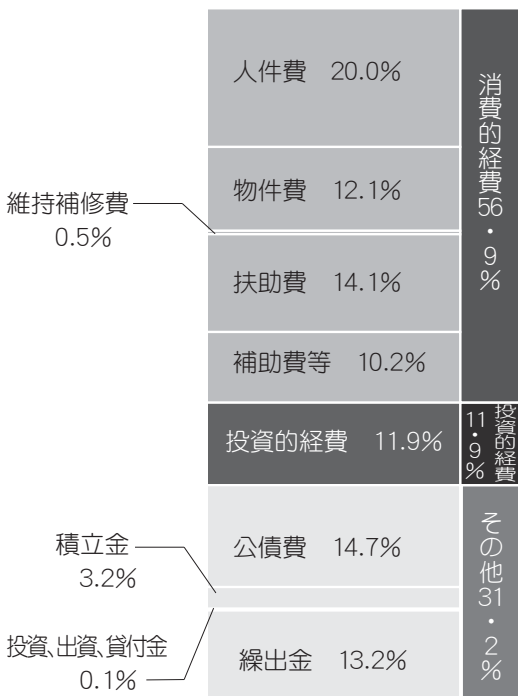


図1 性質別支出の割合



**歳入は前年比11.2%増**  
 平成22年度の一般会計の歳入総額は84億1,108万円、前年度比11.2%の増でした。性質別に見ると、町が独自に確保できる自主財源（町税・使用料・手数料など）は全体の21.1%となつています。一方、国や県から配分されるお金や町債（町が資金調達のため政府や銀行から借りたお金）などの依存財源の割合は78.9%。前年度と比べると総額で7億2,430万円の増となつています。

**歳出は3億3千万円の減**  
 歳出の総額は71億1,680万円、前年度と比べると教育費が3,465万円の増、農林水産業費は1,776万円の増で、総務費が5億9,972万円の減、一般会計全体ではマイナス4.4%、総額3億2,962万円の減となりました。

項目別では、最も多く支出されたのが民生費の21億5,633万円で、前年比17.6%の増。主な使い道としては、児童福祉費の8億7,208万円、老人福祉

項目別では、国からの地方交付税が最も多く34億8,394万円で、歳入全体の41.4%を占めています。前年比マイナス7.8%減少となりました。

項目別では、国からの地方交付税が最も多く34億8,394万円で、歳入全体の41.4%を占めています。前年比マイナス7.8%減少となりました。